

「あいち商店街活性化プラン 2025（仮称）」素案に対する御意見の概要と県の考え方

NO	御意見の概要	県の考え方
1	<p>商店街のイベントのための補助金制度について、多くは組合員が何百件もいるような大型の商店街用のものであり、小規模商店街には使い辛いものが多いと見受けられる。小規模商店街が使いやすい補助金制度を提案して頂けるとありがたいです。</p>	<p>商業振興事業費補助金では、会員数が少ない団体ほど補助率を上げており、小規模な商店街に手厚くなる制度としていますが、さらに利用しやすい制度となるよう取り組んでまいります。</p>
2	<p>視点1 ・若者に人気の店、老舗、地域物産のものなど有名店を招き、電子決済の導入で、店の回転率をUP！集客率をUPさせる。</p> <p>視点2 ・高齢者向け交流サロンに参加する次いでとして、買い物に繋がることも考えられるからいいと思う。反面、税金を使ってまで開催する必要があるのか？</p> <p>視点3 ・アニメなどの流行り（外部人材）とコラボはいいと思う。</p> <p>視点5 ・買い物弱者対策（デリバリーサービス）は、商店街に人が来なくなる原因になり、デリバリーサービスはどっちかという若者向けではないか。 ・そもそも高齢者がスマホなどの電子機器を使うのかどうか。</p> <p>私たちの案 ・スタンプカードを貯めて、今後〇%offにする。→主婦層向け ・食べ歩きできるようにする。インスタ映え。→若者向け</p>	<p>視点1について、人気のある店、地域物産を扱う店などは、いただいたご意見のとおり、集客力があると思われまますので、このような店を呼び込む取組を支援してまいります。</p> <p>視点2について、取組例として、高齢者交流サロンの運営を掲載させていただいているものであり、実施主体は行政に限らず、民間企業やNPOなども想定しています。</p> <p>視点3について、ご当地のゆるキャラなどとの連携については有益であり、参考にさせていただきます。</p> <p>視点5について、デリバリーサービスは商店街の店舗を知らしめることや商店街の売上に繋がり、高齢者の買い物に行けないという問題の解消にも寄与するものと考えております。</p> <p>スタンプカードによる割引や、インスタ映え、食べ歩きができるなど、集客力を高めるような商店街を実現できるよう、助成制度や外部専門家の派遣により支援してまいります。</p>
3	<p>・コロナ禍の影響により低調となった消費マインドを回復させ、消費喚起を図る取り組みとしてプレミアム商品券やキャッシュレス決済によるポイント還元は是非、盛大に実施してほしい。（同様の意見が他に3件）</p>	<p>当面のコロナ禍に対応した消費喚起策として、プレミアム商品券発行やキャッシュレス決済によるポイント還元は有効な手段と考えており、これまでも市町村と連携して、こうした取組を支援してきました。</p> <p>今後も、コロナ感染状況や経済状況などを勘案し、市町村と連携して、消費喚起を図る取組の支援を行ってまいります。</p>
4	<p>大規模小売店等の商店街への加入義務化を推進することにより、地域コミュニティとしての機能強化がされると思う。（同様の意見が他に2件）</p>	<p>商店街では、安心・安全見回り活動や防犯対策の実施を始めとした地域コミュニティ機能に着目した取組を行っており、地域住民からは、商店街の「地域コミュニティの担い手」としての役割が期待されています。</p> <p>こうした商店街の取組は、大規模小売店舗を含む地域の多様な関係者と、地域の課題や問題点を共有して推進することが効果的です。</p> <p>今後も、大規模小売店舗による地域づくりの取組への協力を強化するために、商店街への加入を促進してまいります。</p>

5	<p>新たな就業、創業の場としての機能整備として空き店舗を柔軟に活用していくために、例えば、空き店舗所有者が若手経営者に貸すと、補助制度や税制優遇を受けることができる仕組みがあれば有効だと思う。(同様の意見が他に4件)</p>	<p>げんき商店街推進事業費補助金では、空き店舗を活用したチャレンジショップなどを支援しております。また、今後は商店街の空き店舗への出店、利活用を促進するための空き店舗情報の提供を行うなど、空き店舗を活用した取組を引き続き支援してまいります。</p>
6	<p>コロナ禍の影響により、買い物困難、他者との関わり不足など、地域コミュニティの維持が危ぶまれている中で、地域プラットフォームの構築はとても有効だと思う。地域ニーズの調査などもしっかりして情報共有できる仕組みづくりに期待する。(同様の意見が他に5件)</p>	<p>市町村や地域住民、事業者、支援機関等の様々な関係者が参加する地域プラットフォームを構築し、そのもとで商店街や地域の課題、問題点を共有して、商店街の取組を推進することが効果的です。 今後は、地域プラットフォームを活かして地域のニーズを反映させた取組により、活性化に挑戦する商店街を重点的に支援してまいります。</p>
7	<p>商店街にある街路灯や防犯カメラ、アーケードなどの設置、管理のための補助制度を拡充すれば地域コミュニティの機能強化になるのではないかと。(同様の意見が他に5件)</p>	<p>商店街が街路灯や防犯カメラなどを設置・管理することは、安心して買い物を楽しんでもらうなど商機能の強化につながるだけでなく、商店街を含む地域の安心・安全の向上に役立っています。 引き続き、防犯カメラの設置や街路灯のLED化などの施設整備と、施設を活用した事業を併せて実施する取組について、市町村と連携して支援してまいります。</p>
8	<p>商店街のデジタル化の取り組みについての位置づけが弱いのではないかと思います。 デジタル化は、単なるコロナ禍の非対面型のビジネスモデルにとどまることなく、公共の支援と役割が求められる施策なのではないかと考えます。 素案では、社会環境の変化の中で「デジタル化の浸透」、現況分析の中で「デジタル化の取組不足」、「視点1：商店として「稼ぐ力」を強化」の現状・課題や取組例として記載されていますが、それだけでなく、「視点4：プラットフォームの構築」や「視点5：新たな機能整備」に関連を持たせながら、ウィズコロナ・ポストコロナの視点から、「生活を支える街」として、将来の商店街の姿を模索するための、具体的な施策、取組例を取りまとめたらどうかと思います。</p>	<p>経営者の高齢化、後継者難、店舗の老朽化等の課題を抱える商店街において、デジタル化の導入は、容易ではないと思われませんが、ご意見のとおり、視点4のプラットフォームの構築及び視点5の新たな機能整備の点においても、可能な範囲で、デジタル化への取組も視野に入れて事業の実施を図ってまいります。</p>
9	<p>今後の商店街活性化の肝はいかに消費者のニーズを汲み取る事ができるかという事にかかっていると思います。現在その事に真摯に取り組んでおられる個店主はどれほどいるのか果たして疑問に思います。そんな中、行政が音頭をとって少しでも商店街が活性化するように指導することは有益であると考えます。</p>	<p>商店街の活性化のためには、消費者のニーズを踏まえた取組も重要であると考えており、事業を実施する際には、行政のほか、支援機関とも連携して、商店街の活性化に取り組んでまいります。</p>

10	<p>大阪万博やアジア大会など、4年後5年後のアフターコロナの時代に向けて、5G時代と相まってデジタルツールの導入促進に愛知県としてバックアップして欲しいと思います。例えば、商店街内に居ると英語のみならず、フランス語等も含めて、スマホを介して多言語に対応。これにより、どんなお店か料理か、外国人観光客にもより観光しやすくなる。日本人にも、どこにどのようなお店があるのかすぐに把握できるようになる。さらには高齢者もギフトイド（障がい者）の方々もより優しくなる。デジタルツール導入で、様々な人的交流により商店街をさらに盛り上げられるようなバックアップを愛知県としてサポートして欲しいと思います。</p>	<p>商店街の活性化において、デジタル化の導入は検討すべき課題であり、商店街それぞれの特徴や顧客ニーズに合わせた方策を考える必要があると考えています。</p>
11	<p>空き店舗を子ども食堂として利用することに加えて商店街にある生鮮食品を販売する店舗や地域の農家などから排出される規格外商品を買取り、子ども食堂に使ってもらう事で食品ロスを減らす取り組みを推進するのはどうでしょうか？これにより、SDGsの目標 貧困をなくす・飢餓を0に達成することができるのではないかと考えています。</p> <p>また、安全な地域づくりとして商店街を子ども110番の家としても利用して行ってほしいです。</p> <p>地方の車を運転することができない高齢者は買い物など日常生活で不便な思いをしているので、地域に住む高齢者、学生など交通手段が乏しい人に向けて商店街行のシャトルバスの運行、車利用者に向けて駐車場を整備してほしいと考えています。当日商店街を利用したとわかるもの（レシート等）を提示することでシャトルバスや駐車料金を無料にする。</p> <p>デジタルフォーメーションが進む世の中、高齢者はキャッシュレス決済などに不慣れな方も多く、デジタル技術を取り入れても困惑するかと思います。また、買い物弱者に対する宅配サービスもUber Eats やコープなど大手企業が浸透している今、中小規模で商店街が参入しても利用者の獲得は見込めないのではと疑問に思っています。これではかえって高齢者の方は商店街から離れてしまう気がしてなりません。デジタル化の推進は物事の効率化に直結するが、必須ではないと思います。老若男女が集う商店街という場においてはかえって混乱をまねきかねないのではないのでしょうか。</p> <p>誰もが利用したい、し易いと思える商店街づくりをお願いします。</p>	<p>商店街は、地域に密着した存在であるべきと考え、「あいち商店街活性化プラン2025」においても『暮らし』の、『まち』の、あったらいいな』を実現する商店街への変革を目標（目指すべき姿）として掲げています。</p> <p>子ども食堂での消費期限が間近な生鮮食品や農家の規格外の野菜の利用、高齢者のための商店街へのシャトルバスの無料運行など、今後の参考にさせていただきます。</p> <p>商店街の活性化において、デジタル化の導入は検討すべき課題であり、商店街それぞれの特徴や顧客ニーズに合わせた方策を考える必要があると考えています。</p>

12	<ul style="list-style-type: none"> ・新規開業、あるいは業種転換に対する補助制度は、判りやすくし、セミナー開催など補助制度の使いやすさを検討してほしい。 ・観光主体の商店街を目指すための施策を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・げんき商店街推進事業費補助金、商業振興事業費補助金を活用する際の利便性については、改善に留意してまいります。 ・観光を所管する関係課とも、ご要望内容を情報共有させていただきます。
13	<p>豊川門前周辺商店街は、今後観光主体の商店街を目指すべく、豊川市の観光PR動画の作成、SNSなどの活用などで広く豊川稲荷を全国に周知させたいと考えている。</p> <p>しかし、ノウハウが無いので、イベントや動画配信など、専門家の活用を支援した制度と補助金等の充実を期待したい。</p>	<p>商店街が主体的に観光客等を取り込み、活性化を図る取組には対しては、引き続きげんき商店街推進事業費補助金、商業振興事業費補助金により支援してまいります。</p> <p>観光を所管する関係課とも、ご要望内容を情報共有させていただきます。</p>